

名市大の技術職員にも

“直接相談”できる!

第2回 機器分析 コンシェルジュ × 名古屋市立大学

名古屋市内の大学連携で、研究の“困った”をサポート!

©2024-イラストAC ©2021-かがくイラスト ©いらすとや

相談
無料

2025. **11/17** 月

場所：22号館会議室

対象：学生・教員

予約
不要

10:00～11:30 (お好きな時間にお越しください)

イベント概要

名市大と本学の技術職員が連携し、機器分析に関する無料相談会を開催します。今回は名大の技術系職員も加わり、名古屋市内の大学が協力して研究支援を行います。

今回は電顕試料作製やFCM、PCR装置の共用利用など、実際の研究支援にもつながりました。研究での「これ、できる?」「どう使えばいい?」を気軽にご相談ください。

教員・学生を問わず、研究機器利用の課題解決を幅広くサポートします。

名古屋市立大学共用機器センターの装置は、包括協定により本学の教員が使用する場合、学内料金で利用可能です。



名古屋工業大学
産学官金連携機構



NC 名古屋市立大学



NAGOYA UNIV. HVEM
超高圧電子顕微鏡施設
High Voltage Electron Microscope Laboratory, IMaSS, Nagoya University

参加機関のご紹介

各大学の保有装置や研究分野の活用方法について、技術職員から直接アドバイスを受けられます。
料金および利用方法については各大学の職員におたずねください。

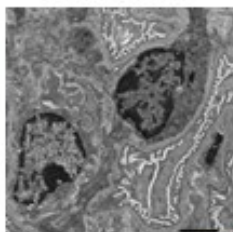
NC 名古屋市立大学
大学院医学研究科・医学部

所在地：愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1



樹脂包埋試料の観察

試料：マウス腎臓

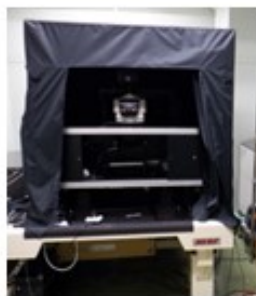


2 μ m

TEM

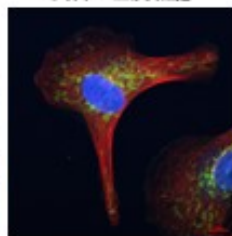
(JEM-1400Plus / 日本電子)

マウスの腎臓の樹脂包埋試料の超薄切片画像



培養細胞の観察

試料：上皮細胞



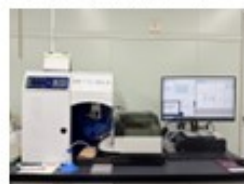
2.0 μ m

高速多光子共焦点レーザー
顕微鏡システム

(AX R MP with NSPARC / NIKON)

蛍光3重染色

フローサイトメーター



リアルタイムPCR



TEMでは、日常的に生体試料の樹脂包埋超薄切片の観察や、自施設にて作成した支持膜をつかったネガティブ染色等を行っています。酢酸ウラニルを使用した切片染色が可能で、高いコントラストでの観察ができます。光学顕微鏡は、蛍光顕微鏡、多光子共焦点レーザー顕微鏡等を設置しております。さらに、分子・細胞レベルの研究を支援する先端機器として、リアルタイムPCR、DNAシーケンサー、フローサイトメーター（セルアナライザー・セルソーター）を設置しています。これらを活用することで、遺伝子発現解析や細胞機能評価、特定細胞群の分取など、多様な研究展開が可能です。実験計画段階からのご相談にも対応し、生命科学分野へのアプローチをサポートします。

名市大
共用機器センター
HP



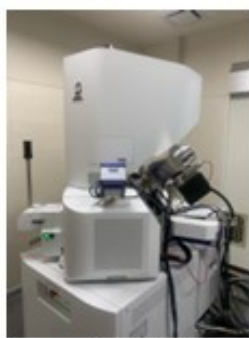
NAGOYA UNIV. HVEM
超高压電子顕微鏡施設

High Voltage Electron Microscope Laboratory, HVEM, Nagoya University

所在地：愛知県名古屋市千種区不老町



超高压走査透過電子顕微鏡
(JEM-1000K RS / 日本電子)



FIB-SEM
(PS500i / 日本電子)



FIB-SEM
(NX5000 / 日立ハイテク)



FE-SEM
(Gemini560 / カールツァイス)

名古屋大学の超高压電子顕微鏡施設には、最大1000kVの高加速電圧を備えた電子顕微鏡があり、厚い試料内部の原子配列や欠陥構造の直接観察が可能です。FIB-SEMIは3台すべてがEDS検出器を搭載し、低加速Arビームによるダメージ除去、ペルチェ式冷却ステージによる冷却観察、3D構築のための高分解能連続観察など、用途に応じた選択ができます。また、2025年度に導入されたGemini560は最大200万倍の高分解能FE-SEMで、20V～30kVの低加速観察に対応します。これにより、試料の構造・組成解析を多角的に行うことができます。

名古屋大学
次世代バイオマ
テリアル拠点
計測・分析分野
HP

